戸次中学校区小中一貫教育通信

令和8年11月4日（水） No.4

小中合同「総合的な学習の時間」授業研究会　開催！

11月4日（水）に戸次中学校にて、小中合同「総合的な学習の時間」授業研究会が行われました。小中一貫教育における今年度からの取組で、今回は戸次中学校1年生の授業「『好きです　戸次地区』の戸次中版リーフレットを創ろう」を3校の教員が参観しました。戸次地区のよさや特色について、グループごとにテーマを決めて、調べたことをリーフレットにまとめる活動です。地域の魅力を知り、ふるさと戸次への愛着を深めることをねらいとしています。当日は「班で力を合わせてリーフレットの記事を選ぼう」をめあてに、各自が作成したスライドを発表し合い、読み手の心を動かすスライド選びについて、生徒が活発に話し合いました。

授業後は、グループ討議を中心とした事後研を行い、大分市教育委員会より来ていただいた河野靖主幹に指導・助言ををいただきました。

【授業の様子】

グループ内での発表





全体での発表

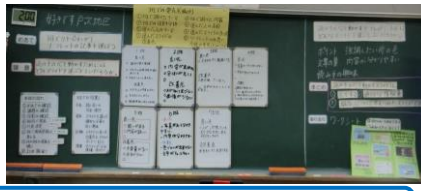




ふり返り



読み手の心を動かすスライドのポイントについて、まとめとふり返りをしました。



各グループで、選んだスライドの理由やよい点を全体に伝えました。

【事後研の様子】

決めていた視点をもとに、各グループで授業を分析しました。今年度の研究の重点である「言葉の宝箱」や「聴く力」を、生徒が意識して活動する様子が見られたことや、ゴール（リーフレットの作成）の明示によって生徒が見通しをもって活動できていることなど、多くの成果が見られた授業でした。河野主幹からは、「子どもが主体的に学ぶ」ことの本質や「相手意識をもつ」意味について等、ご指導をいただきました。







＜感想より＞

・生徒一人一人がきちんとテーマを捉えて調べ、スライドにまとめていたところはすばらしいと思いました。自信をもって発表できていました。

・ゴールの姿をしっかりと作り、1学期から取り組んだ様子がよく伝わりました。いろんな教科・場面において力をつけていて、探求的な学びになっていたと思います。